

浦尾社長のコラム

3月に入って、急にあったかくなりましたね。(3月7日現在)
と、思って、ヒートテックから普通の下着に着替えたら、まだ寒かった。

2月29日の西日本新聞の記事に、国交省のアンケートで、
バス・トラック・タクシー業界の人間ドックの受診率が出ていました。

トラック業界で、人間ドック 16%、脳MRI 11%と、有りました。
この数字は、アンケートに答えた「優良な事業所」から出てきた数字です。

浦尾の推測では、せいぜいこの1/5位じゃないかと思っています。
人間ドック 3%、脳MRI 2%位が、実態かな!?

また、勝手に決めました。その、少ない中に入ろうっと!
たちまち、人間ドックを全員に受診してもらおうと思います。
最近、脳血管疾患の社員さんも見受けられるので、脳MRIも考えています。
内容や毎年になるかどうかは決めていませんが、取り敢えず初回を行います。

余談：表に出てくる数字の実態・・・

最近はやりの乗用車の安全装置が付いた車両と、
付いてない車両の事故件数が、6倍位の差があるって話を聞きました。

いかにも性能の差のように聞こえますが、高いお金を払って安全装置の付いた
新車を買える、安全に対して意識している人達のグループと、そうでない人達の
グループの、運転に対する意識の差は反映されていません。

はなから(同じ条件の車を乗っても)、3倍以上の差は有りそうだけど。
そうすると、2倍位の差が有るってことか。でも、凄いね。

またまた、事故の件で・・・

2月27日の4tの事故での損害が、車両の全損含めて約500万円位かな。
昨年4月の4tの事故では、約700万円プラス、保険料が年間600万円増額
になったので、1,300万円。
2件の事故だけで、1,800万円。宮若市で安い1件家が手に入りますなあ。

と、昨年度に支払った事故の弁償金が、約1,200万円。毎月100万円。
もっと、いいことに使いたいよねえ!!

ヨロシク!!

人間ドックと健康診断の違い

1. 「人間ドックと健康診断」：目的の違い

人間ドックも健康診断も、「現在の健康状態を明らかにし、健康異常に対する早期発見と健康保持」という目的で行われますので、目的は同じです。

2. 「人間ドックと健康診断」：定義の違い

人間ドックと健康診断で何が違うの？

人間ドック：明確な定義はない。検査項目が多い。

健康診断：法律で必要な項目が定められている。検査項目が少ない。

■健康診断・・・1年毎に1回以上義務付けられたもの

健康診断は、労働安全衛生法で一年毎に1回以上、定期的に行うことが義務付けられています。

■人間ドック・・・法的な義務はない。

一方、人間ドックには、法的な定義はありません。

一般的には、健康診断に比べ、人間ドックの方が検査項目がより専門的になり、種類も多くなります。より総合的に精密な検査を受けたい方が任意で受診します。

■健康診断・・・検査項目が少なく、会社・自治体で決まっている

健康診断は、糖尿病や高脂血症など生活習慣病リスクに関する検査が中心で、検査内容は簡単なものが多く、拘束時間は少ないです。主な検査内容に下記のものがあります。

- ・血液検査：血糖値や赤血球などを計測。糖尿病なども調べる
- ・身体測定：体重の大幅な増減がないか確認。臓器の異変を確認
- ・胸部X線：肺や心臓についての検査。肺炎などの病変を確認
- ・肝機能検査：黄疸や肝硬変などのリスクをフォロー
- ・糖尿検査：尿や血中の糖分値をチェック。糖尿病を確認

簡易であるため、結果も「〇〇のリスクが高い」「〇〇の疑いがある」という傾向を教えてくださいものになります。

■人間ドック・・・項目が多く、目的に合わせてたり選べたり、組み合わせたりできる

一方、人間ドックでは、受診後に「生活習慣病が見つかった」「初期のがんが見つかった」と良く耳にするのは、人間ドックのほうが一般的な健康診断よりも検査する項目が多く総合的に診断できるためです。

人間ドックは大きく分けると「基礎ドック」と「専門ドック」の2つに分けられます。

<基礎ドック>

健康診断の検査項目をより詳細に調べる、生活習慣病に関わる検査項目が中心です。

<専門ドック>

がんドック、脳ドック、レディース、心臓ドックなど死亡リスクが高いものを積極的にカバーする検査です。

■脳ドック：MRIやCTなどの画像診断で脳梗塞などを調べる

文書一部引用：<https://www.mrso.jp/dock/> 人間ドックのマーソより